



総選挙での政権交代めざし 頑張ってます

日本共産党 かねもと幸枝

衆議院選挙は、各種選挙の中で、いつ実施されるかわからないという点では一番難しい選挙です。それでも任期四年の10月中旬までには、必ず実施されます。自分たちの政権維持のため、コロナウイルス感染爆発の中でオリンピックを開催した菅自民・公明政権を倒さなければ、国民の命も暮らしも守れません。国民の苛立ちや不満は強いものがあります。「市民と野党の共闘」で政権交代し、その中でも今度こそ日本共産党が議席を増やし、政治を変える力になれるように、党の「自力」をつける点でも頑張っています。

私は、1990年、31歳で初めて衆議院選挙に挑戦して以来、総選挙に挑戦し続けてきました。当時は幼い2人の子育てと活動で目が回るようでした。以来30余年の今、95歳の夫の母、83歳のわが母の二人と同居し、介護問題に直面しています。だからこそ実感として、菅首相の言う「自己責任」論を打ち破って、医療や介護、社会保障を豊かにして、生まれてから死ぬまで人間としての尊厳を守る政治を実現したいと訴えています。この話は、女性を中心に党派を超えて共感してもらえます。

その力が、本当は日本にあるのに、アメリカ言いなり、大企業の利益優先の自民党政治が日本社会をゆがめています。このゆがみを正す綱領路線を持っている日本共産党だからこそ、自分たちにとって不利になることでも、「市民と野党の共闘で政権交代を」と、ブレることがないのです。

日本共産党の魅力をこれまで以上に語って、北陸信越ブロックで藤野やすふみ衆議院議員の議席を絶対に確保し、さらに議席増めざし頑張ります。



戦前の小磯首相とそっくり、菅首相の無能

76年前、東京大空襲で10万人が一晩で亡くなった翌日、当時の小磯首相は「一時の不幸に屈せず、断じて戦い抜け」と談話を発表した。空襲で家も家族も失った都民にどうたたかえというのだろうか。あまりにも酷い話だった。

菅首相も「オリンピックより命が大切」との声を無視して、コロナ感染拡大の不安が現実となると、国民に向かって、感染したら自宅療養を基本にする、と方針転換。一人暮らしの人や、こどもを持つ親にどう家で過ごせというのだろうか。いくつも部屋がある家ばかりではない。戦前の小磯首相と同じく菅首相の無能ぶりが証明されているだけだ。こんな政権を一刻も早く替えることが求められている。

野党連合政権を実現しよう

福井県革新懇が宣伝行動

県革新懇は7月19日、福井駅前通りで菅内閣がコロナ禍のもとで「国民の命と健康を犠牲にしてオリンピックを強行している」ことに抗議する宣伝行動を行いました。鈴木孝典・革新懇代表代行、屋敷絃美・ふくい9条の会事務局長、山野寿一・県年金者組合委員長、広田精利・南越革新懇共同代表、かねもと幸枝・共産党県書記長などが次々と「市民と野党が共同して菅政権を退陣させ、野党連合政権」を訴えました。



福井県版

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
福井県本部

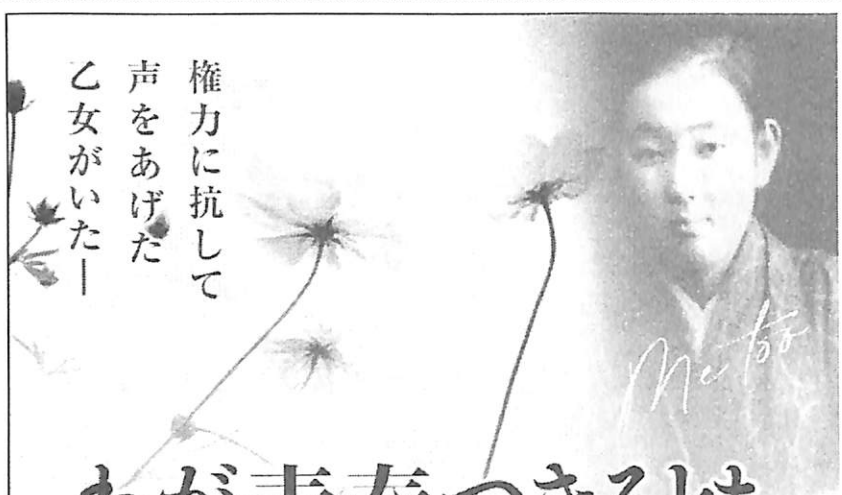
〒918-8203
福井市上北野2-9-15
Tel.0776-76-0836

私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であることを認めること。
- 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

権力に抗して
声をあげた
乙女がいた――



わが青春つきるとも

――伊藤千代子の生涯――

桂 壮三郎 監督作品

2021年 秋クラインクイン
2022年3月 完成

竹下 景子 (主演) 窪塚 俊介 (主演) 金田 明夫 (主演) 新人・井上百合子 (伊藤千代子) 石丸 謙二郎 (特別出演) 嵐 圭史 (特別出演)

期待の映画化
製作快調!

chiyoko-cinema.jp



空襲犠牲者を悼むために
平和を願い戦争に反対します

1945年(昭和20)7月の福井と敦賀の空襲を語り継ぐ「展示とつどい」が7月19日、福井駅前のハピテラスで開かれました。

屋敷絃美実行委員長は「私たちと行政の行う慰霊祭と基本的に違う。私たちは戦争に対する批判がなくては、空襲の犠牲者を悼むことにはならないと思っています。戦争と空襲の背後にながったのかを考え、平和を願い戦争に反対することが大切です」とあいさつしました。

展示資料(ゆきのした文化協会提供)では「戦争への道」と題して、日中戦争から年代順に戦争がすすめられた背景がわかります。

戦意高揚のための報道写真などで国民を欺いて戦争をすすめていたこともわかります。戦争末期には戦費調達のために「ますます当たる弾丸切手」(1枚2円)を1等千円の景品までつけて販売していました。また、焼野原となった街の写真、空襲体験者の絵や写真、焼夷弾、防空頭巾の冥物も展示されて、多くの人が足を止めて見入っていました。

こうした史実を多くの人に知ってもらうことが、戦争する国づくりを許さない力になるのではないでしょう。か。「つどい」では空襲体験者のお話や、福井のうたごえ合唱団の演奏などがありました。最後に参加者全員が折り鶴を祭壇に供えました。

映画・製作上映運動を成功させましょう

「わが青春つきるとも-伊藤千代子の生涯-」は今年秋にクラインクインし、来春完成をめざしています。

桂壮三郎監督は、この映画のタイトルにこめた思いを、「伊藤千代子が戦前、人々の幸せのために青春を燃焼させ、治安維持法弾圧と長期の獄中生活の中で、地しばりの花に寄せて命がけでたたかう決意を込めて生きた、その姿を今日の若者に届けたい」と語っています。

福井県内でもこの映画の製作・上映運動を成功させるために力を合わせましょう。製作募金運動を広げて下さい。

